

3 年連続！知的財産侵害物品の輸入差止件数最多記録を更新！

～令和元年の横浜税関における知的財産侵害物品の差止状況～

令和元年の横浜税関における偽ブランド品などの知的財産侵害物品の差止状況をまとめましたのでお知らせします。

全体：輸入差止件数は過去最多を更新、輸入差止点数は 6 万点を超える

- ・ 輸入差止件数は 9,595 件で、過去最多であった前年よりさらに 58.2%増加しました。
- ・ 国際郵便における輸入差止件数が 9,500 件を超え、全体の件数増加に大きく影響しています。
- ・ 輸入差止点数は 64,001 点で、前年より 37.5%増加し、6 年ぶりに 6 万点を超えました。

仕出国（地域）別：中国からの輸入差止件数が全体の 90%超え

- ・ 仕出国（地域）別では依然として中国が大多数を占め、輸入差止件数で全体の 94.3%（9,045 件）、点数で全体の 76.2%（48,743 点）を占めています。
- ・ 仕出国（地域）別の輸入差止点数で香港が前年と比べて約 8 倍（10,373 点）と大幅に増加しました。

知的財産別：偽ブランド品などの商標権侵害物品の輸入差止件数が増加

- ・ 知的財産別では、偽ブランド品などの商標権侵害物品の輸入差止件数が前年より 59.7%増加しており、輸入差止件数全体の 99.6%（9,556 件）を占めています。
- ・ 知的財産別の輸入差止点数では、著作権による差止が前年の約 2.7 倍と増加しております。

品目別：ベルト類の輸入差止件数、玩具類の輸入差止点数が大幅増加
オリンピック・パラリンピック関連の知的財産侵害物品の差止めが増加

- ・ 品目別にみると、前年と比べてベルト類の輸入差止件数が約 8 倍、玩具類の輸入差止点数が約 7 倍となり、大幅に増加しました。
- ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの記念メダル等、オリンピック関連の知的財産侵害物品の輸入差止めが増加しています。

令和元年の横浜税関における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

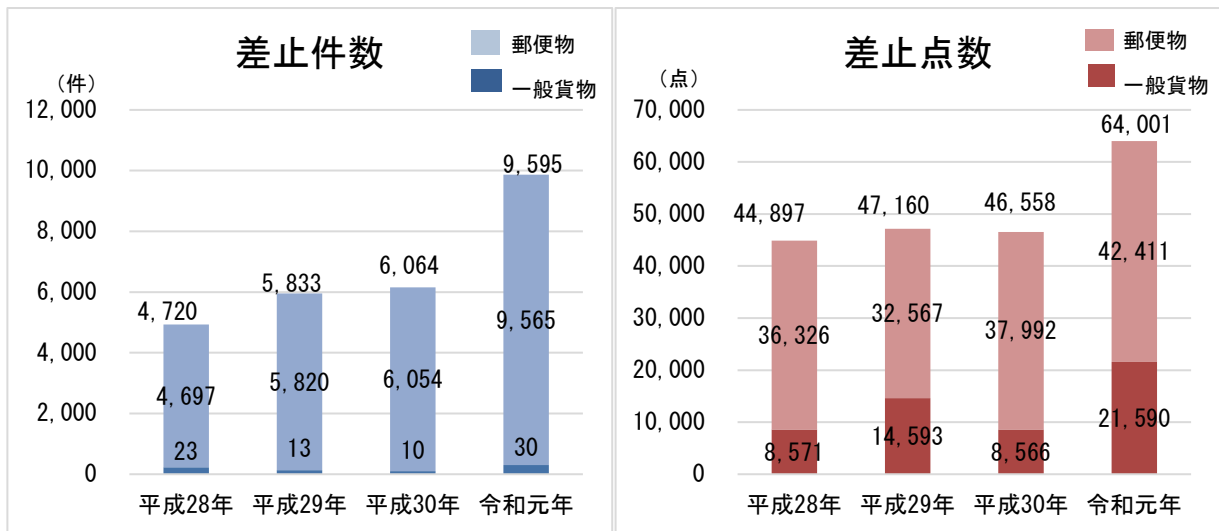
- ◆ 輸入差止件数は 9,595 件（前年比 58.2%増）で、過去最多であった昨年をさらに上回っています。
- ◆ 輸入差止点数は 64,001 点（前年比 37.5%増）で、引き続き増加傾向にあります。
- ◆ 一般貨物の差止点数は 21,590 点で、前年より大幅に増加（前年の 2.5 倍）しています。
- ◆ 川崎外郵出張所での国際郵便物における差止件数が 9,565 件で、前年より大幅に増加（前年の約 1.5 倍）しています。

（注）「輸入差止件数」は、税関が差し止めた知的財産侵害物品が含まれていた輸入申告又は郵便物の数です。

「輸入差止点数」は、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。

（例）1 件の輸入申告又は郵便物に 20 点の知的財産侵害物品が含まれていた場合、「1 件、20 点」として計上しています。

知的財産侵害物品の輸入差止実績の推移



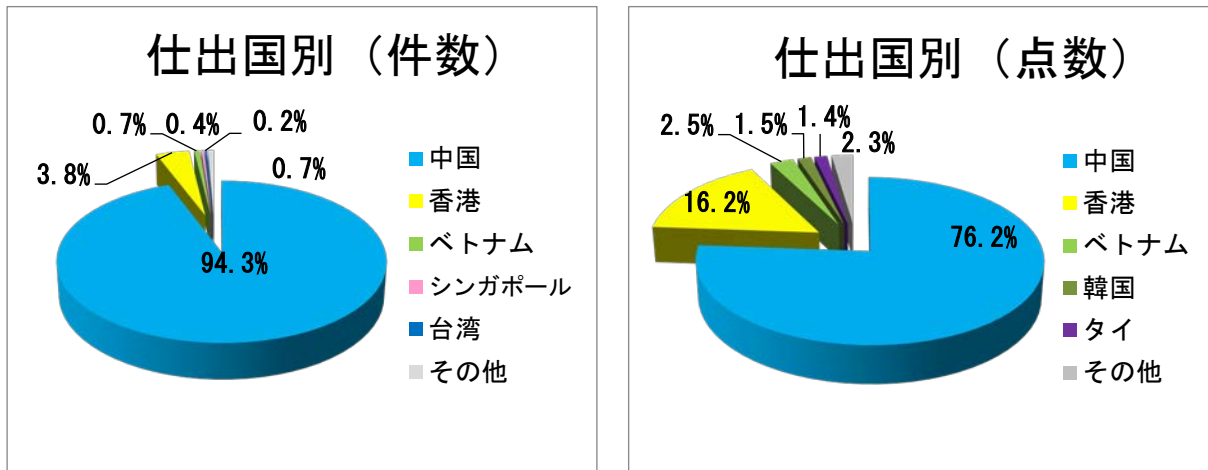
<参考：全国実績との比較>

		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	前年比
横浜 実績	件数	5,360	4,720	5,833	6,064	9,595	158.2%
	点数	59,024	44,897	47,160	46,558	64,001	137.5%
全国 実績	件数	29,274	26,034	30,627	26,005	23,934	92.0%
	点数	689,621	622,665	506,750	929,675	1,018,880	109.6%

1. 仕出国（地域）別輸入差止実績

- ◆ 輸入差止件数は、中国を仕出しとするものが9,045件（構成比94.3%）、次いで香港が365件（同3.8%）、ベトナムが64件（同0.7%）と続いています。
- ◆ 輸入差止点数は、中国を仕出しとするものが48,743点（構成比76.2%）、次いで香港が10,372点（同16.2%）、ベトナムが1,613点（同2.5%）と続いています。
- ◆ 中国については、全国実績でも知的財産侵害物品の仕出国として一極化への進展が窺われるところ、横浜税関においても同様に中国が最も多い状況となっています。

仕出国（地域）別輸入差止実績構成比

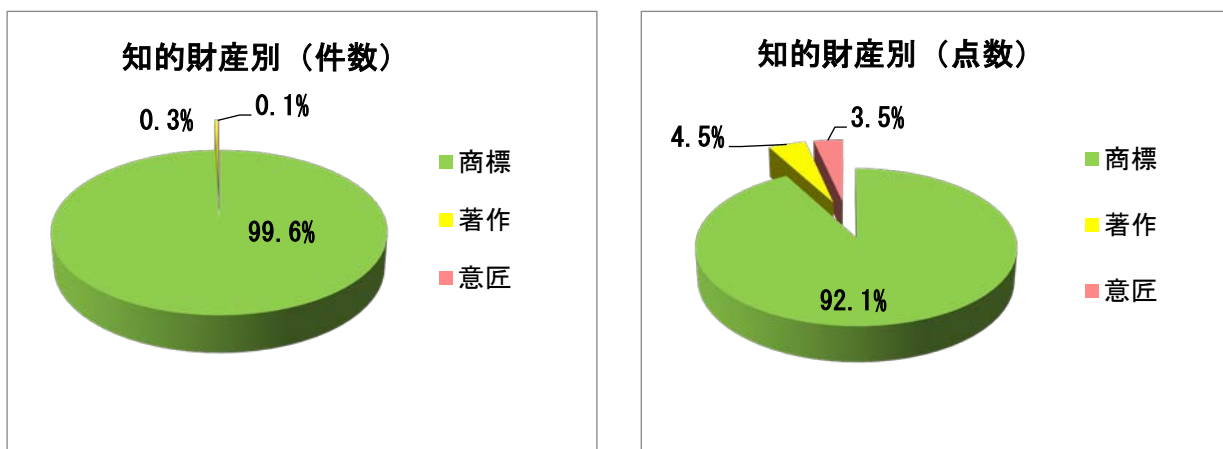


（注）四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

2. 知的財産別輸入差止実績

- ◆ 輸入差止件数は、偽ブランド品などの商標権侵害物品が9,556件（構成比99.6%）で、全体の大半を占め、次いで著作権侵害物品が26件（同0.3%）となっています。
- ◆ 輸入差止点数についても、商標権侵害物品が58,928点（構成比92.1%）で、件数と同様に大半を占める傾向は変わらず、次いで著作権侵害物品が2,853点（同4.5%）となっています。

知的財産別輸入差止実績構成比



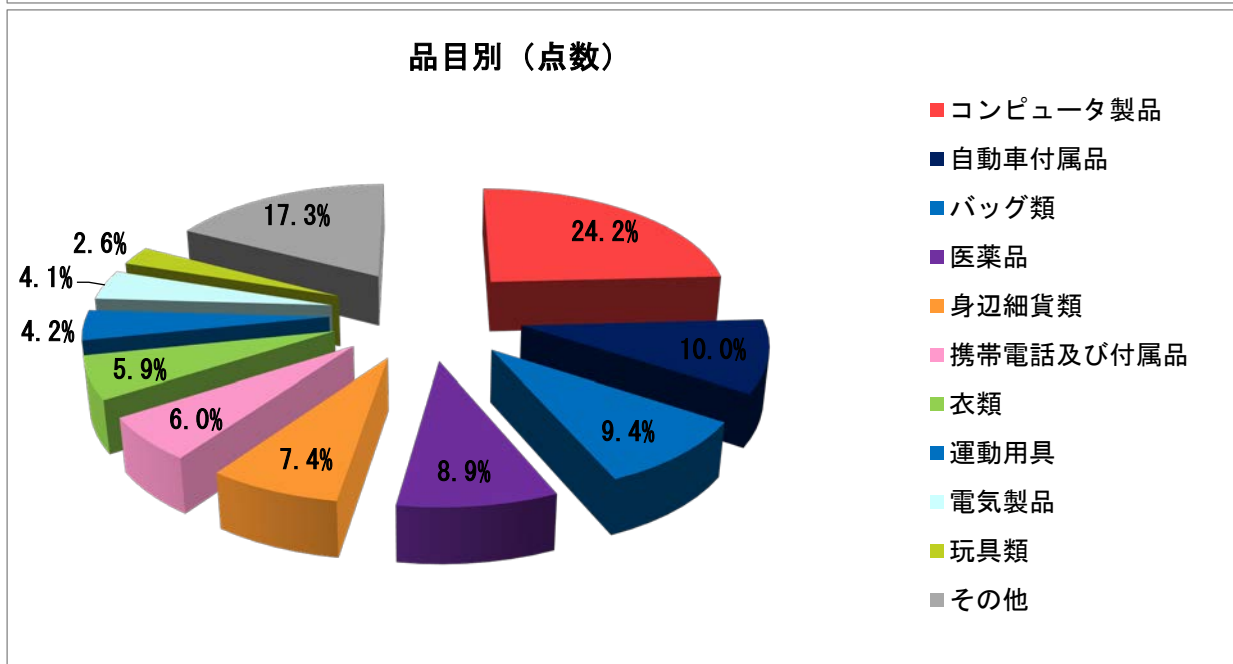
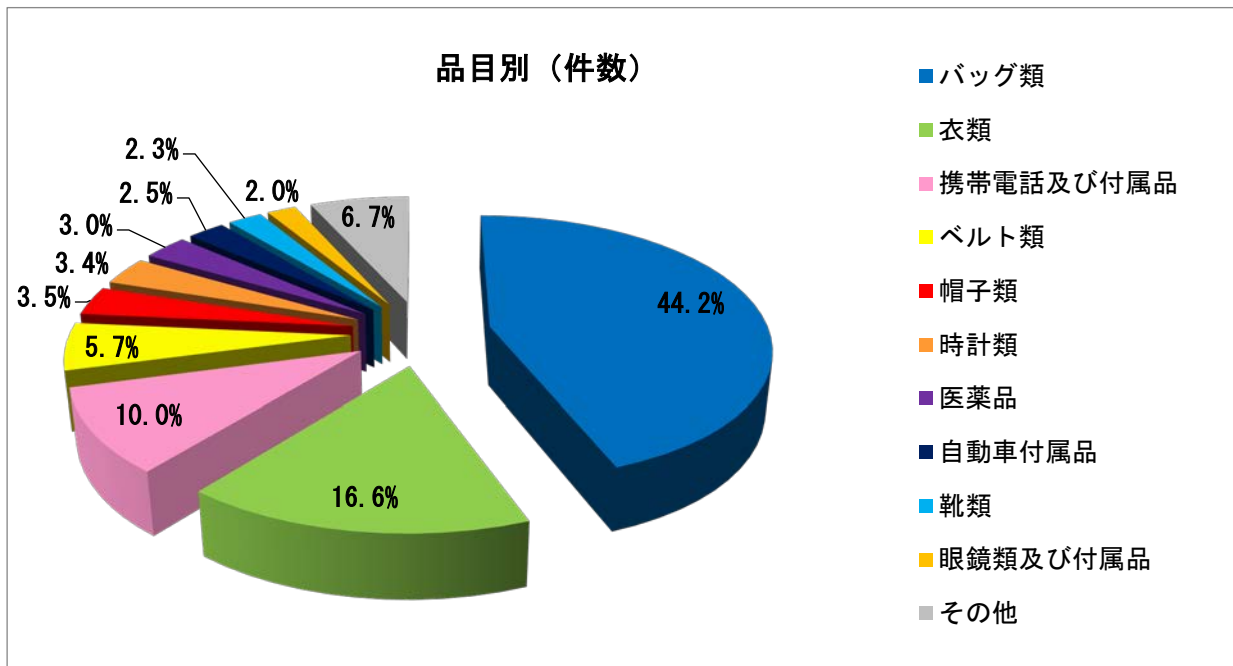
（注1）1事案で複数の知的財産侵害に当たる場合、それぞれの知的財産に件数計上されるため、知的財産ごとの合計件数は差止件数の合計件数と一致しません。

（注2）四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

3. 品目別輸入差止実績

- ◆ 輸入差止件数は、バッグ類が 4,369 件（構成比 44.2%）と最も多く、次いで衣類が 1,638 件（同 16.6%）、携帯電話及び付属品が 989 件（同 10.0%）となっています。前年と比べて、ベルト類の輸入差止件数が大幅に増加しています（約 8 倍）。
- ◆ 輸入差止点数は、コンピュータ製品が 15,464 点（構成比 24.2%）、次いで自動車付属品が 6,398 点（同 10.0%）、バッグ類が 5,990 点（同 9.4%）となっています。前年と比べて、玩具類の輸入差止点数が大幅に増加しています（約 7 倍）。

品目別輸入差止実績構成比



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%にならない場合があります。

横浜税関で輸入を差止めた侵害品の例

輸入差止めが多い物品

バッグ類 (商標権)	衣類 (商標権)	携帯電話及び付属品 (商標権)
		
(ハンドバッグ)	(パーカー)	(スマートフォンケース)

ベルト類 (商標権)	帽子類 (商標権)	時計類 (商標権)
		
(ベルト)	(帽子)	(時計)

健康や安全を脅かす危険性のある物品

医薬品 (商標権)	化粧品類 (商標権)	オリンピック関連 (商標権)
		
(ED治療薬)	(化粧品)	(記念メダル)

令和元年の横浜税関における知的財産侵害物品の差止状況(資料)

1. 仕出国(地域)別輸入差止実績

(1)件数

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比	構成比
中国	4,668	4,179	5,184	5,506	9,045	164.3%	94.3%
香港	481	254	336	255	365	143.1%	3.8%
ベトナム	10	4	2	41	64	156.1%	0.7%
シンガポール	28	161	141	122	34	27.9%	0.4%
台湾	5	6	9	18	21	116.7%	0.2%
その他	168	116	161	122	66	54.1%	0.7%
合計	5,360	4,720	5,833	6,064	9,595	158.2%	100.0%

(注1) 本表は仕出国(地域)ベースであり、原産国(地域)を示すものではありません。

(注2) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

(2)点数

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比	構成比
中国	45,786	36,292	40,069	35,177	48,743	138.6%	76.2%
香港	6,785	2,997	1,859	1,282	10,373	809.1%	16.2%
ベトナム	92	53	15	2,871	1,613	56.2%	2.5%
韓国	4,593	1,997	892	718	930	129.5%	1.5%
タイ	304	772	1,203	5,109	869	17.0%	1.4%
その他	1,464	2,786	3,122	1,401	1,473	105.1%	2.3%
合計	59,024	44,897	47,160	46,558	64,001	137.5%	100.0%

(注1) 本表は仕出国(地域)ベースであり、原産国(地域)を示すものではありません。

(注2) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

2. 知的財産別輸入差止実績

上段:件数
下段:点数

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比	構成比
特許権	0	2	1	1	0	全減	0.0%
	0	110	2,100	60	0	全減	0.0%
意匠権	1	1	22	35	14	40.0%	0.1%
	47	17	7,829	974	2,220	227.9%	3.5%
商標権	5,358	4,710	5,800	5,982	9,556	159.7%	99.6%
	58,976	44,659	34,416	44,474	58,928	132.5%	92.1%
著作権	17	11	18	53	26	49.1%	0.3%
	0	111	2,815	1,049	2,853	272.0%	4.5%
著作隣接権	0	0	0	0	0	—	—
	0	0	0	0	0	—	—
育成者権	0	0	0	0	0	—	—
	0	0	0	0	0	—	—
不正競争防止法	1	0	0	1	0	全減	0.0%
	1	0	0	1	0	全減	0.0%
合計	5,360	4,720	5,833	6,064	9,595	158.2%	100.0%
	59,024	44,897	47,160	46,558	64,001	137.5%	100.0%

(注1) 1事案で複数の知的財産侵害に当たる場合、件数についてはそれぞれの知的財産に、点数については表中上位の知的財産のみに計上しています。従って、知的財産ごとの件数の合計と合計欄の件数は一致しません。なお、構成比は権利ごとの数の合計(のべ数)をもとに算出しています。

(注2) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

(注3) 各権利で保護されているものは、例えば以下のものです。

特許権:特許法に基づき特許登録された「発明」

意匠権:意匠法に基づき意匠登録された物品の形状、模様等の「デザイン」

商標権:商標法に基づき商標登録された文字、図形等の「ロゴマークやブランド名」

著作権:創作されたキャラクターや音楽CD等の「著作物」(著作隣接権と共に著作権法で保護)

著作隣接権:レコード会社により製作された「音楽CD(日本での販売が禁止されている海外版音楽CDを取締り)」

育成者権:種苗法に基づき品種登録された「植物の新品種」

不正競争防止法で輸入が規制されているものは、例えば以下のものです。

・広く認識されている他人の「商品等表示」との混同を生じさせるもの

・著名な他人の「商品等表示」を使用するもの

・他人の商品の形態を模倣するもの

・「営業秘密」として管理されている秘密情報の不正使用により生じたもの

・技術的に制限されているプログラムの実行を可能とする装置

(例:ゲーム機器において本来は使用することができない海賊版ソフトを使用できるようにする装置)

税関では、各権利を侵害するもの及び不正競争防止法で規制されているものを輸入してはならない貨物として、取締りを行っています。

3. 品目別輸入差止実績

(1) 件数

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比	構成比
バッグ類	2,514	1,201	1,675	3,188	4,369	137.0%	44.2%
衣類	225	113	177	391	1,638	418.9%	16.6%
携帯電話及び付属品	693	2,005	1,655	896	989	110.4%	10.0%
ベルト類	59	36	63	69	564	817.4%	5.7%
帽子類	100	52	120	65	344	529.2%	3.5%
時計類	231	100	267	268	336	125.4%	3.4%
医薬品	87	102	61	58	299	515.5%	3.0%
自動車付属品	7	54	32	105	250	238.1%	2.5%
靴類	1,032	782	970	735	230	31.3%	2.3%
眼鏡類及び付属品	246	124	620	198	195	98.5%	2.0%
その他	609	416	481	558	664	119.0%	6.7%
合計	5,360	4,720	5,833	6,064	9,595	158.2%	100.0%

(注1) 1事案で複数の品目を含んだものがある場合、それぞれに計上するため品目ごとの件数の合計と合計欄の件数は一致しません。なお、構成比は品目ごとの件数の合計(のべ件数)をもとに算出しています。

(注2) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

(2) 点数

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比	構成比
コンピュータ製品	696	947	2,505	5,503	15,464	281.0%	24.2%
自動車付属品	162	1,431	1,853	7,875	6,398	81.2%	10.0%
バッグ類	8,640	5,577	3,307	4,880	5,990	122.7%	9.4%
医薬品	2,780	2,849	2,872	1,775	5,719	322.2%	8.9%
身辺細貨類	5,540	1,884	1,118	2,953	4,741	160.5%	7.4%
携帯電話及び付属品	6,228	6,154	9,157	4,209	3,863	91.8%	6.0%
衣類	2,732	1,055	5,439	2,804	3,762	134.2%	5.9%
運動用具	0	775	2,936	1,772	2,670	150.7%	4.2%
電気製品	15,915	3,249	6,245	2,920	2,653	90.9%	4.1%
玩具類	483	89	816	240	1,680	700.0%	2.6%
その他	15,848	20,887	10,912	11,627	11,061	95.1%	17.3%
合計	59,024	44,897	47,160	46,558	64,001	137.5%	100.0%

(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

4. 輸送形態別輸入差止実績

上段:件数
下段:点数

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比	構成比
一般貨物	13	23	13	10	30	300.0%	0.3%
	14,983	8,571	14,593	8,566	21,590	252.0%	33.7%
郵便物	5,347	4,697	5,820	6,054	9,565	158.0%	99.7%
	44,041	36,326	32,567	37,992	42,411	111.6%	66.3%
合計	5,360	4,720	5,833	6,064	9,595	158.2%	100.0%
	59,024	44,897	47,160	46,558	64,001	137.5%	100.0%

5. 知的財産別輸出差止実績

令和元年において、輸出差止実績はありませんでした。

《 資料に関する問い合わせ先 》

横浜税関 業務部 知的財産調査官
〒 231-0023 横浜市中区山下町279-1
TEL 045-212-6116(直通)
横浜税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/yokohama/>
税関ホームページ <http://www.customs.go.jp>

※本資料を他に転載する場合には、横浜税関の資料による旨を必ず注記してください。